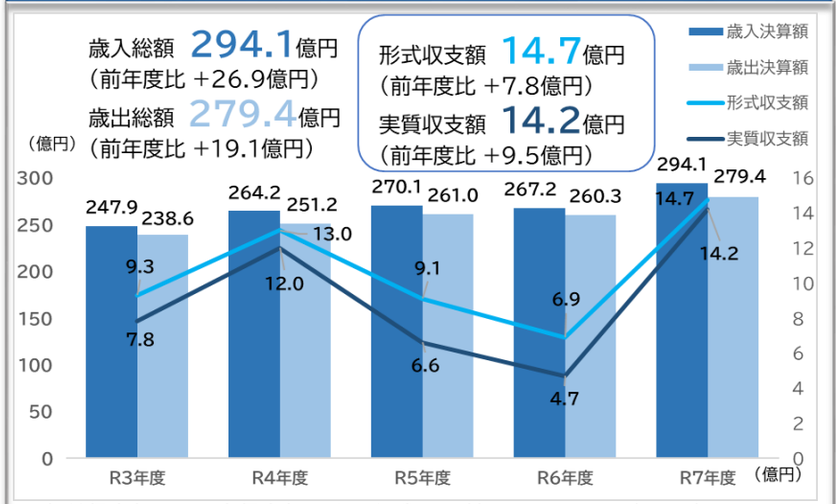
令和7年度 中野市一般会計決算のポイント

子どもど真ん中・薔薇色のまちへの挑戦に取り組み、未来につなぐ健全な財政運営を推進しました。

1 決算総額(一般会計)

歳入総額 **294.1**億円
(前年度比 +26.9億円)
歳出総額 **279.4**億円
(前年度比 +19.1億円)

形式収支額 **14.7**億円
(前年度比 +7.8億円)
実質収支額 **14.2**億円
(前年度比 +9.5億円)

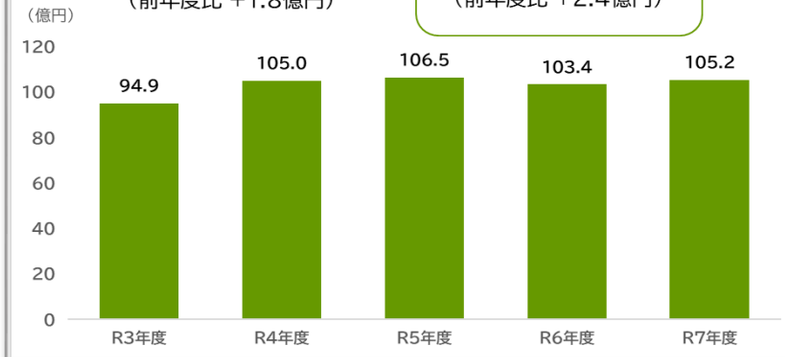


▸実質収支額は、形式収支額から翌年度へ繰越すべき財源を除いた額です。

2 基金残高の推移(一般会計)

基金残高
105.2億円
(前年度比 +1.8億円)

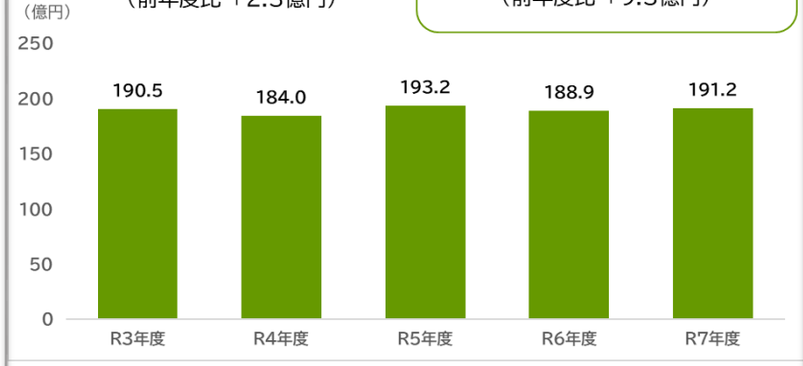
財政調整基金残高
32.2億円
(前年度比 +2.4億円)



3 市債残高の推移(一般会計)

市債残高
191.2億円
(前年度比 +2.3億円)

臨時財政対策債を除く
市債残高 **133.9**億円
(前年度比 +9.3億円)



4 財政健全化指標(普通会計)

※普通会計とは地方財政状況調査(決算統計)上の会計区分。中野市の場合は一般会計のみで構成

指標	中野市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	–		20.00%
連結実質赤字比率	–		30.00%
実質公債費比率	5.0%	25.0%	35.00%
将来負担比率	–	350.0%	–
経常収支比率	88.4%	–	–

▸すべての指標で早期健全化基準を下回っており、財政の健全性を維持しています。

5 主な増減要因(前年度比)

歳入の主な増減

寄附金	+12.6億円	ふるさと寄附金の増など
市債	+6.4億円	脱炭素化推進事業債の増など
国庫支出金	+6.1億円	新しい地方経済・生活環境創生交付金の増など
地方交付税	+2.6億円	普通交付税の増など

歳出の主な増減

物件費	+8.9億円	ふるさと寄附金事業費の増など
普通建設事業費	+8.3億円	市内公共施設における照明LED化工事費の増など
扶助費	+1.9億円	物価高対応子育て応援手当給付金の増など
人件費	△2.3億円	常勤一般職退職手当の減など

6 主要事業(令和7年度に実施した主な事業)

子育て・教育

学校給食費無償化事業



学校給食費を無償化し、保護者負担の軽減を実施

2.2億円

産業振興

道の駅改修事業



道の駅「ふるさと豊田」の改修工事を実施

2.9億円

健康長寿

eスポーツ事業



eスポーツの活用により、高齢者の健康増進や社会参画を促進

339万円

公共施設等

市営野球場電光掲示板化・音響設備更新工事



市営野球場を新たな交流拠点とするための工事を実施

2.1億円

7 総括

- ✔ 寄附金や地方交付税等の増加により、財源を確保しつつ、第2次中野市総合計画を推進する事業に取り組みました。
- ✔ 適切な予算執行と歳入確保に努めたことで、財政調整基金を取り崩すことなく、また、財政調整基金残高も増加しました。
- ✔ 市債残高は増加に転じましたが、市債の借入にあたっては、可能な限り地方交付税措置のある有利な地方債の借入に努めました。
- ✔ 将来に負担を残さないよう、引き続き、健全な財政運営を維持しながら、持続可能なまちづくりを推進していきます。

※ なお、令和7年度決算の詳細は、別添の決算概要もご覧ください。